



教えてイトコ

宇都宮

市外からやってきた人たちに
宇都宮のイトコを聞きました。

イチゴ農家を営む齋藤龍介さん



◀3児の父親でもある齋藤さん。「宇都宮は、公園も広くて遊びやすいし、外で遊ぶのも安心です。子どもたちもずいぶん体力が付いたし、運動神経が良くなりました」と言います。



◀齋藤さんの育てたイチゴ。「とちおとめは、甘いのが好きな人、酸味が強いのが好きな人、どちらでもおいしく食べられると思います。味と値段のバランス、育てやすさも含めて完成度が本当に高い品種です」と話します。

念願だった農業を始めるために、5年前に東京から宇都宮へ移住してきました。移住先を宇都宮に決めた理由は、家族が希望した、東京への適度な距離感や、市の新規就農制度が充実していたことももちろんですが、何と言っても出会った人の良さです。私の経験が乏しいにもかかわらず、農業をやりたいという思いを親身になって受け止めてくれた行政の皆さんや先輩農家の存在が大きかったです。

今は、農業に取り組む毎日ですが、本当にやりがいがある楽しいです。東京と比べると、空気も澄んでいて、星空もきれいです。自然も豊かで、虫が飛んでいたりカエルの声が聞こえたりするのは、3人の子どもたちにとっても驚きだったようです。

これからも工夫と改良を重ねて、もっとおいしいイチゴを作っていきたいですね。

◎齋藤さんは、3月13日(日)午前10時30分～10時40分とちぎテレビ「井上マーの教えてイトコ宇都宮」(再放送)に出演します(48ページ参照)。併せてご視聴ください。

乗ってみよう 地域内交通

今回は、地域組織が運営主体となり運行している地域内交通のうち、雀宮地区のデマンド型乗り合いタクシー「おでかけちゅんちゅん号」について紹介します。



■「おでかけちゅんちゅん号」の導入に至るまで 雀宮地区は、JR雀宮駅と国道4号線を通るバス路線が走っており、南北の公共交通は充実していますが、国道4号線沿線以外は公共交通空白・不便地域が広がっています。地域の移動手段を確保するため、平成22年から、まちづくり協議会が中心となって地域内交通の検討を開始しました。その中で、特に要望が強かった6自治会で、デマンド方式による乗り合いタクシーを先行導入することになり、平成25年9月から「おでかけちゅんちゅん号」の運行を開始しました。

■地域のまちづくりを考えた運行 運行に当たっては、雀宮地区内の施設に加え、近隣の五代若松原地区や壬生町などのスーパーや病院も目的施設とする他、JR雀宮

駅や複数のバス停に接続することで日常生活の移動手段として利用されています。また、地理に詳しい地元のタクシー事業者による運行や誰でも快適に利用できるユニバーサルデザイン車両の導入など、利用者の利便性を考えた運行をしています。

また、利用促進と導入自治会拡大を図るため、利用者の声などを載せた「おでかけちゅんちゅん号通信」の発行や地域行事での車両展示・利用案内など、PR活動を継続的に実施して、運行開始以降、着実に利用者が増加しています。平成27年7月には新たに1自治会が加わるなど、地域住民にとってますます身近な公共交通として活用されています。

雀宮地区地域内交通運営委員会会長 千葉 紘一さん



「おでかけちゅんちゅん号」の運行も3年目になりました。運転手さんの笑顔や安全な運行で、買い物や通院などの際に、楽しく安心・便利に利用させていただいており、評判は上々です。現在は7つの自治会での運行ですが、導入自治会を拡大し、雀宮地区をますます住みよい便利な「まち」にしていきたいと思っています。

地域内交通のことを回覧で知った時に、なんて素晴らしい取り組みだろうと感動しました。運行当初から買い物や通院など、毎日のように利用しています。近くに住んでいても会えない人と楽しくお話ができたり、思いがけない情報を聞いたりできることは相乗りの利点だと思います。これからもたくさんの方に利用してもらいたいです。



利用者の高藤さん

交通政策課 ☎(632) 2133

■おでかけちゅんちゅん号

- ▽運営主体 雀宮地区地域内交通運営委員会。
- ▽運行日 月～土曜日(祝休日、年末年始除く)。
- ▽運行エリア 雀宮地区全域、五代若松原地区・壬生町・下野市・上三川町の一部。
- ▽運行便数 1日10便(午前8時発～午後5時発)。
- ▽利用料金 1回300円(インターパークエリア・獨協医科大学病院は500円。小学生半額、未就学児無料)。
- ▽利用対象者 雀宮地区7自治会(針ヶ谷下、針ヶ谷町上坪、針ヶ谷中、雀宮幕田、針ヶ谷柵の葉、さつき、高砂西友)エリアの住民。
- ▽その他 利用方法など詳しくは、市ホームページをご覧ください。また、雀宮地区市民センター ☎(654) 1013へ。



▲おでかけちゅんちゅん号の車両



◎毎月1日はもったいないの日 日々の行動を振り返ろう 市では、地球上にあるすべてのものに、尊敬と感謝の気持ちを持ち、ひとやものを大切に作る「もったいない運動」を進めています。日々、実践している行動をさらなる行動・実践につなげるために、月の初めに先月までの行動を振り返りましょう。環境政策課 ☎(632) 2409